

## 委員会視察記録

委員会名	産業委員会	
期 間	令和2年10月19日～20日	
参加者	委員長 藤曲 敬宏 副委員長 東堂 陽一      副委員長 杉山 淳 委 員 森 竹治郎      委 員 勝俣 昇 委 員 加藤 元章      委 員 良知 淳行 委 員 田口 章      委 員 中田 次城 委 員 鈴木 節子	
視察先	1 トヨタ自動車東日本(株)東富士総合センター（裾野市） 2 (株)GFe ファーマーズフロント（裾野市） 3 富士山麓フロンティアパーク 小山造成地（小山町） 4 静岡県信用保証協会沼津支店（沼津市） 5 富士たまご(株)（富士宮市）	

## 視察の概要

10月19日（月）

### ■ トヨタ自動車東日本(株)東富士総合センター

<概要>

トヨタ「コネクティッド・シティ」は人々の暮らしを支えるあらゆるモノやサービスがつながる実証都市である。

また、裾野市はSDCC（スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ）構想を進め、クリエイティブ・マインドを持った市民や企業などがデジタル技術やデータの利活用により、あらゆる分野の地域課題を解決する次世代型近未来都市を目指している。



<主な質疑応答>

Q 100戸の住宅造成について事業スキームはどのように行うか？

A 市の構想に基づいた事業者を募集して来年の7～8月には着工出来て住宅が建ち始めることを目指している。

Q 静岡県に対して要望することは？

A 県、市、企業と役割はそれぞれあるが、細かいところで連携体制は取っていききたい。

Q 裾野市の都市計画変更に伴いWoven Cityの中で財政支出はあるか？

A 財政支出はない。

Q 裾野市の街づくりの理念は？

A 技術によって市民を監視するものではなく、市民が幸福度を上げることを重点にしている。

## ■ (株)GFe ファーマーズフロント

### <概要>

(株)GFe ファーマーズフロントは、裾野市に位置する高床式砂栽培農場である。農機具を全く使わず、体に負担が少ない軽作業のみでの栽培が可能であり、高齢者や障がい者の方々でも農業に携われる、農業と福祉が連携出来る農法である。



### <主な質疑応答>

Q 高床式砂栽培の砂はどのような砂を使用しているか？

A 栽培に適した地場に近い物で、神奈川の川砂を使っている。

Q 水を出すタイミングは？

A 1日2回で3～4分。

Q 栽培する物について、いつ、何を入れたか管理方法は？

A 札に植物名を記載して砂に指している。また、収穫期管理表を作成し管理している。

## ■ 富士山麓フロンティアパーク 小山造成地

### <概要>

富士山麓フロンティアパーク 小山は、平成30年10月に完成した工業団地で、関係部局及び小山町が連携して積極的な企業誘致を行った結果、現在9区画が分譲済みとなり、残り1区画となっている。



### <企業局地域整備課長説明概要>

現在10区画中9区画が分譲済みで、建物が建っているところは2社である。

分譲計画の合計は、新規雇用540人、投資額249億円である。新型コロナウイルス感染症等のマイナス要因がある一方で、分譲計画より大きな物をつくり、雇用を増やす予定のところもある。

進出企業が選んだ理由としては、浸水エリアでない高台である、富士山の側で自社で井戸を掘って水を供給する、土地が多く、安くて補助金がある等であり、その業種は静岡県産業イノベーション拠点形成に寄与している。

緑地部分について、苗木を高密度に植えることで成長が促進し樹木が根を深く張るため、災害に強い宮脇方式を試験的に行っている。

10月20日(火)

## ■ 静岡県信用保証協会 沼津支店

### <概要>

令和2年に入り、国内で感染拡大した新型コロナウイルス感染症に対する影響が甚大であることから、売上減少、資金繰り悪化等の影響を受けている中小企業者に対し、県制度融資による金融支援を実施している。



### <主な質疑応答>

Q 具体的な経営改善支援は？

A 資金繰等は中小企業診断士に入ってもらい全体を見てもらう。事業の再生計画は金融機関と連携する。

Q 保証申込みについての地域及び産業別特徴は？

A 3月に東部で多いのはホテル、旅館等の関係である。西部は自動車等だが、出が遅かった。自動車は持ち直していると聞いているため西部地区は落ちているという認識である。

Q 償還期間が始まると厳しいが来年度以降どのように考えるか？

A 県内企業を出来るだけ救い、雇用を守っていくのが使命と考えている。職員にも徹底していく。

## ■ 富士たまご(株)

### <概要>

令和2年に畜産クラスター事業を活用して整備された鶏卵を生産する農場及び集卵出荷場で、国内最大規模、農業産出額50億円増加が見込まれる。



### <主な質疑応答>

Q 従業員数は？

A 農場で25人。工場75人。最終的にはトータル130人位になる予定。

Q 静岡を拠点とした理由は？

A 関東から西と北陸の商圏を供給でカバーできると考え新たな拠点として選んだ。

Q 生産するたまごの量は？

A 全国年間260~265万トンのうち、当社は25万トンなので約10分の1である。

Q 総事業費と補助金額は？

A 122億7千万円のうち、補助は46億円。